

Title: 「ANDANTE☆」



谷本 冴海
20歳です。雨女です。方向音痴です。でも色んな人に出逢いに行ってます!!!

● 最近のエントリー

- 田舎が好きなんです。
(2010.04.25)
- ホーチミン→ブンベン
(2010.04.16)
- カム・オン。 Day19～
26/183 ベトナム(BuonJun村)
(2010.04.12)
- 牛と鳥と豚と猿と犬と。
Day18/183 ベトナム(BuonJun Village)
(2010.04.05)

● アーカイブ

- 2011年02月
- 2011年01月
- 2010年10月
- 2010年09月
- 2010年08月
- 2010年07月
- 2010年06月
- 2010年05月
- 2010年04月
- 2010年03月

● 投稿カレンダー

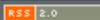
● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



μ TOUGH-6020



「ANDANTE☆」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.25

田舎が好きなんです。

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

「今日はキリングフィールド行く?」

「No」

「トゥールスレンは?お寺は?」

「No」

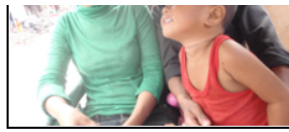
「...ok,ok, チョロイ・アンビルね?」

「Yes(^^)」

ブンベン滞在中毎日同じドライバーさんに頼んで、
チョロイ・アンビル村に5日間通いました。

今回お世話になったのは美女揃いのSLAY一家。
毎日毎日「また来ちゃった☆」みたいな感じで訪れ、一日居座る。
というか、居心地が良過ぎて20時間睡眠とか。(起きてびっくり)



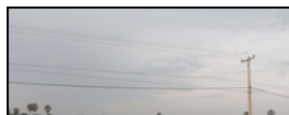
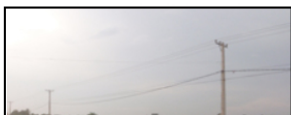


カンボジアは、空がきれい。
人もきれい。

私のことをsisterと呼んでくれたSLAY一家に、
また絶対帰ってくるね、と言ってはいばいしてきた。

ブンベンゲストハウスからの行き帰りのトゥクトゥクの中、
増設中の道路を毎日通った。
舞い上がる土煙の中で、たくさんの若者が毎日頑張っていた。

この国は本当にこれからなんだと思った。
今、生きている人たちが自分の手で作り上げていってるんだって。
どんどん変わっていくんだろうな...
どんな風になっていくのかな。





プノンペンにいた間、むさしの通うスラムの人たちの生活環境の話色々聞いた。
ゴミ山に直接排泄をしたり...など。

私が通っていた村は生活水準で言ったらちょうど標準くらいな気がする。
それでも、私と同じ年の次女はお金がなくて学校に行けなくなって
プノンペンで働いている。
今SLAY一家の中で学校に通えているのは14歳の長男だけ。
三女と四女は毎日家でクロマー(カンボジアのスクーフ)織りを手伝っていた。

次女は冗談で私に日本人の人と結婚したいと言った。
私も冗談で「次来る時に見つけてくるね」と返したけれど、
きっと彼女に日本は合わない。特に東京。

フィールドワークに来て郊外の村をまわって、
人と人の関わりの濃さを感じる。

日本にいる時は、家族みんなが忙しくて、何かに追われてて、
ゆっくり話す時間もなかったし、一緒にご飯すら食べられない日も多かった。

Nac(次女)は日本に行きたいと言ったけれど、
私はこの生活を羨ましく思った。

カテゴリ:

post by 谷本 湧海 | 日時: 2010.04.25 | [バナーリンク](#) | [コメント\(6\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「ANDANTE☆」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.16

ホーチミン→プノンペン

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

ベトナム最終日、
みんなであさひの誕生日パーティをしました(^^)

アオザイめっちゃ似合ってた☆
荷物になるかな～
とも思ったけども、
満足☆ワタシが。ーおい

かすみんはっぴいばーすでい(^^)v



そんなこんなで次の日に陸路で国境を超えて、
4カ国目、カンボジアに突入しました。

今はクメール正月真っ最中。
...

ということ、街が静かです。
ベトナムでは外を歩けばいやいやいやいやいや
話しかけられたけども、カンボジアの人たちは
そんなに外国人を気にしないみたい。

嬉しいような、
寂しいような。

でも、好きです。
このゆったりした感じ。

カンボジアでは、このままプノンペンに滞在し、
プノンペンからトゥクトゥクで10時間～20時間くらいかかるかな？
というプノンペン郊外のチョロイ・アンビル村という村を取材撮影します。

英語...通じないだろうな～
コミュニケーション頑張ろう。

ベトナムでの反省点を生かして、
撮影したいと思います。

まだ撮影のベースがつかめていない分、
何も考えずシャッターを沢山押したい。



おまけ。
プノンペンのネットカフェにて☆
巨人になったおかだあきな。笑



最後にこの場をお借りして、
カメラ直すのに協力していただいた、
東京の長坂先生、富田先生、斉藤先生、機材室のみなさま
本当にありがとうございました！

お忙しいなか申し訳ありませんでした(><)
これから宿戻って引き続き頑張ります。

久しぶりにみなさんの顔が見れて嬉しかったです(^^)

長坂先生、、、
谷本を見捨てないであげてください。
あと体験授業のパンフ、
差し替えてください。
本当にお願います。ワタシハワルクナイ(泣)
それでは、また...☆

カテゴリ:

post by 谷本 冴海 | 日時: 2010.04.16 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「ANDANTE☆」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.12

カム・オン。 Day19~26/183 ベトナム(BuonJun村)

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

ベトナム語で『ありがとう。』

Buon Jun村(ブオンジュン村)の人々に。

この村はベトナム中部都市BuonMaThuot(バンメトート)という場所のさらに奥地。
バスで1時間半くらい。

Lien Son Town(リエンソンタウン)という町の外れに
Le村、Don村、Jun村といくつかの集落が点在し、
ベトナム少数民族のムノン族の人々が暮らしています。

私が撮りたいのは人々の生活、日常です。
そしてその国の人々の暮らし方が知りたい。

なのでこのフィールドワーク、
私はあまり近代化されていない地をまわります。

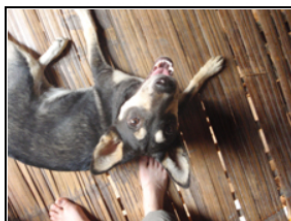
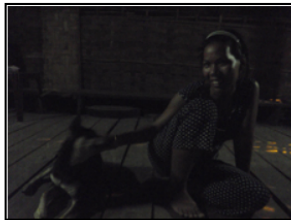
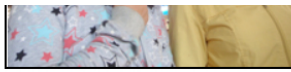
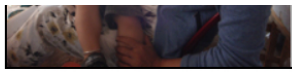
そして出来るだけ人々の内側に入って写真を撮りたい。
そのため基本的に1か国1箇所の地に出来るだけ長く滞在します。
今回はこのJun村のおうちに6日させていただきました。

写真は思うように撮れたとは思いません。
コミュニケーションをとることを優先し、写真を後回しにしたり、
少し疲れてバテてしまったり。
自分に甘いんです。

けれど、あたたかく自分を受け入れてくれたこの村の人々に
本当に感謝しています。
書きたいことが山ほどあって、何から書いたらいいかわからないです。

なので、写真で。







しっかりこの村を後日紹介したいと思えます！

やばい！暗くなってきた！帰らねば〜！！
明日から撮影。
落ち着いてしっかり撮影したいです。

カテゴリ：

post by 谷本 冨海 | 日時: 2010.04.05 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「ANDANTE☆」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.04

ベトナム人になりたい。

[Tweet](#)

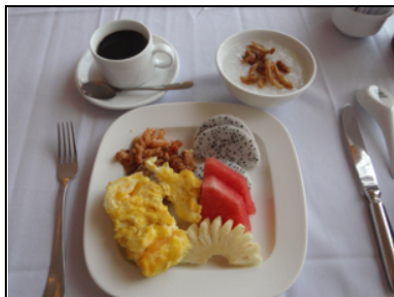
[いいね! 0](#)

[チェック](#)

さー、バンメート2日目の今日です。
きのうの夜で完全にベトナム歩きにびびったワタシ。

少年たちにたかだか2個のフルーツを12000ドンで買わされたワタシ。←
なんとか抵抗しようとしたんだけどね。
悪ガキどもめ。

朝ご飯はホテルのバイキング。おかゆうま〜
お昼ご飯は昨日買ったリンゴ。しなってます。ずい。
日本のリンゴ農家を見習いなさい！



さてさて。
よるご飯はどうしようか。

窓から外を見ては行く気が失せ、
だけど行くしかない。
て、ここでスカイプでますみわーさんに背中を押してもらい(ありがとう！)
ご飯を食べてくる。を目標に外へ!(なんか違うか?)

大きな道路を渡ると住宅地でした。(信号機一個もない)
かわいらしい色や形の家が多い。



とりあえずぐるーっと歩く。
視線が痛すぎる。
後ろから来たバイクも振り返る。後ろ姿で外人とわかるのか?

バイクに話しかけられる→断る。笑顔で。
おじちゃんに話しかけられる→あいむじまにーず!

とりあえずカフェっぽいところに入ってみる。
女の子達がいっぱい働いてるお店。多分年下か同い年くらい。
フードメニューある?
うん。英語が全く伝わらないぞ。
女の子笑いながらヘルプ!と言う。
うむ。ミートだ。

よくわからないけど流れにまかせてみる。
女の子ジャスマンティーといちごみるくを持ってきてくれた!
おばちゃんわざわざコップについてくれた!
みんなこっち見ては微笑んでました。優しい。





でもやっぱりご飯はないみたい。
しばしティータイム。
帰り際女の子に持ってきたベトナム会話帳で「何か食べられるところある？」と聞いてみる。
なに言ってたかはわからないけどとりあえずあっちの方だよと言われ、行ってみることに。

お。カフェっぽいお店だ。人も結構いる。
あ。後ろにちょっと暗くて汚いけどご飯売ってるお店があるぞ。
人も少ない。
(うむ。後者にしよう。ご飯くらいガン見されずに食べたいです。)



まあ予想通りおばちゃん全く英語通じない。
とりあえず流れに任せてみる。
おばちゃんセレクトのご飯がこれ☆



おいしかった～！
ご飯山盛りだったけど食べてしまった！

そしておばちゃん色々話しかけてくれる
↓
わからないからとりあえず笑顔でなんか言ってみる。
↓
するとおじちゃんと娘さん登場
↓
おじちゃん少し英語できた！あいずじやないぞーず！

↓
おぼちゃんと一緒に写真写って？と言うとおぼちゃん恥ずかしがる。かわいい。

で、結局おじちゃんオンリーで(へへ)



カフェのおねーちゃんにも、おぼちゃんにもぼられたりせず、みんな優しいし、少しずつ慣れてきました。ベトナム。

(おぼちゃんのとこのご飯なんて一食1万5000ドン☆日本円だと75円！)

ガン見はしかたがない。
どんどん交流しよう。
と、思える一日でした。

とは言えども...
ワタシどーしたらベトナム人に溶け込めますかね？
服装？靴？靴？髪？(染めたんだけどな...)

明日はホテル移動！
撮影する予定の村の近くに移動します。
今度こそしっかり撮影していきたいです。

おまけ。かわいいー



post by 谷本 冴海 | 日時: 2010.04.04 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

「ANDANTE☆」 > 2010年04月 アーカイブ

ふあん！とても！ Day10～17/183 ベトナム
(BuonMaThuot)

[Tweet](#)

[いいね！ 0](#)

[チェック](#)

はい。もうなんだか追いつく気がしないんで、
一気に飛んじゃいます。(こら)

ばびゅーん。



花蓮(鉄道)→台北2日(飛行機)→ベトナムハノイ2日(飛行機)
→ホーチミン経由(飛行機)→バンメトート(現在)

ってな感じであっというまに3カ国目がスタート！
現在、ベトナム中部高原バンメトート(BuonMaThuot)というところに滞在中。

ホーチミン空港のチェックイン待ち。
ここで2時間くらいバックバック枕にして寝ました。
とりあえずあっつい！



バンメトート到着☆



毎度思うのは、
また田舎に来たなあ～
ということ☆

学校指定泊(大都会orそれなりに都会&郊外は田舎)
↓
撮影地(ど田舎)

をこのFW中行ったり来たり。

ここバンメトートでは未だ観光客をひとりも見ません。
ハノイにはあんなにいっぱいいた欧米の方々も。

昨日ホテルに着いたのが17時半頃。

ここで2日です。無駄に広くて落ち着かない。



とりあえず夕食食べなくちゃな〜と、外を歩いてみました。

うむ。
なにもない...

ちょっとしたご飯屋さんがいくつかありますが、まるまるな鶏さんがぶら下がっている...明らかに香草系の葉っぱが大量に見える。(無理と半断)

フルーツでいっかぁ。
と、買っていくと少年達がそろそろ出てきた！中学生くらい？なぜか爆笑。ーえ

ここに来てから外を歩くと見た人見た人必ず話しかけてくる。
&ガン見&爆笑(若者たち)

韓国、台湾からガン見はされ続けてきたけど、いっそう増えました。そしてここではコリアン？と必ず言われる。スピンがコリアン人なワタシ☆

すでに不安すぎでしょうがないベトナムです。

でもここが田舎だからか、人の雰囲気はやわらかい気がします。

あと1週間の間一人バンメトート。
この国を好きになれるような日々になったらいいな。
自分次第ー。
がんばります。

部屋からの景色は綺麗☆



PS.ベトナムでは痩せそうな気がします。
そして順調に育っています。
上腕二頭筋☆(漢字合ってるかな?)
心なしか腹筋もついてきたような...

カテゴリ:

post by 谷本 冨海 | 日時: 2010.04.04 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「ANDANTE☆」 > 2010年04月 アーカイブ](#)

10.04.03

花蓮でのできごと 2 Day7-10/183 台湾(花蓮)

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

はい。つづきです。
なんだか文章を書くともものすごく長くなってしまふ癖があるので、写真でばーっといきます。

薄めちゃくちゃきれい。

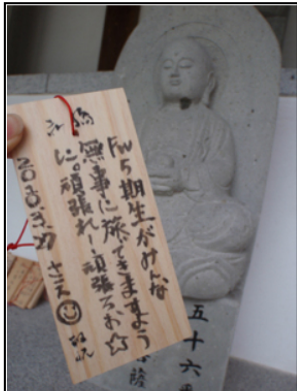




吉安農修道院というところ。
(日本移民村と書いたのを間違っって解釈されて紹介された場所...)



まあせっかくだから絵馬書いてみちゃったり。(おい)



足がなくて食事に行けない私を気遣ってくれて、3食民宿の方達と一緒に食べさせてもらいました。右の女性はここで働くインドネシア人のアシー☆彼女のご飯がおいしいのなんのって。





牛の山というところに行きました。牛が山に放し飼いられているそう。
そして左の方が牛のおやじさん(呉さんがこう呼ぶ)



家族みんなでこの山でいろんな彫刻をしたり、カフェを開いたり。
アートのスティックな彫刻がたくさんありました☆



そこらじゅうにいる牛さんたち。
どの子も口がひんまがってるのはなぜ？



阿美族の踊り。
美男美女の若者たちでした～☆



着てしまった！



かおりおばちゃんにご対面☆
日本の統治が終わる前1年間だけ小学校で日本語の勉強をさせられたそうです。
とても優しい(^_^)74歳には見えません。



かおりおばちゃんの妹さんです。
この方に阿美族の花嫁衣装を着せてもらいました☆



最終日に色々と案内をしていただいた呉さん。
台湾では牧師さんをなさってます。かおりさんのいここにあたるそうです。



民宿のオーナーの息子さんのニック。本名は王義雲さん。
鳩使いです(笑)





本当にたくさんの方にお世話になりました。
ありがとうございました！
真的謝謝！！

おまけ。



カテゴリ：

post by 谷本 冨海 | 日時: 2010.04.03 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「ANDANTE☆」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.01

花蓮でのできごと 1 Day7-10/183 台湾(花蓮)

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

かなり遅れての更新になりますが
花蓮での日々を。

3/26 花蓮駅に着いて民宿のお迎えを呼ぶためインフォメーションにかけこみ、日本語が少しできるおねーさんに宿に電話をしてもらい迎えに来てもらいました。来てくれたのは民宿オーナーの息子さん。通称ニック。おかあさんがお出かけ中のため、彼が民宿を取り仕切っていました。

この民宿にいる間ずーっと面倒をみてもらってました。
宿は駅から車で20分ほど。
近くにセブンイレブンがひとつあるだけで他は細しかありません。
ご飯など食べる場所はないのです。

これからコンビニご飯かぁ。。
と思いつつセブンで夕飯を購入しようとしたところ、
ニック「ご飯まだなの？じゃあ買いに行こう！」と、車でプーンと20分くらい。





なんだか若者が集まる屋台街みたいなところに連れてってもらいました。
少しの英語とジェスチャーとで、あれは？これは？若はベジタリアン？好きなものは？
と本当に気を使ってくれ、さらにはいきなり携帯を渡されたかと思うと...

「もしもし?!ワタシはね、おばちゃんよ！香おばちゃん！
この方はアナタ何食べたいか聞いていますからね、エートエート、
何か困ったらネ、すぐおばちゃんに言いなさい！ネ！」

「それと、アナタ明日どこ行くの？一人なの？なに？豊田?!
無理よこの方明日は民宿離れられないカラね、一人じゃ危ないでしょう？エートエート、
ワタシのイトコにーさんね！明日行くから、ダカラあなた待ってなさい！」

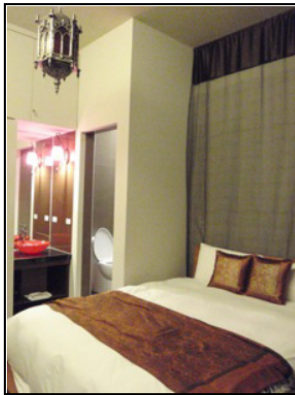
(かおりおばちゃんと、いとこにーさん????一体誰なのか...)
よくわからないところもありつつも、結局初日だけで香おばちゃんに5回くらい助けてもらいま
した☆

ご飯を買い終わり、宿に着いてからがまた長かった...
ここからフロントでのPCの翻訳と筆談を駆使した会話がスタート！
この時点でpm20:00くらい。

自分の目的、行きたい場所、駅までの道のり...これだけ聞くのに2時間以上かかった。。
しかも目的は一向に伝わらない...

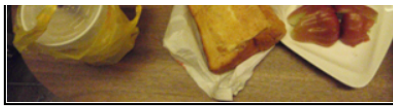
学校から作っていただいた名刺を渡し、学校ホームページとFWブログを見せ、
日本から持ってきた自分の写真を数枚見せて...
なんとなく伝わったかな？というところでお互い疲れぎってしまい、
とりあえず第2ラウンドは明日にしようということになった。

そしてやっと部屋に☆
なんだかイマドキっぽい感じ？
トイレバスルームにはなぜか扉がありません☆



そしてこれが結局その日買った夕飯達☆
明らかに買い過ぎました。。結局半分も食べられなかった;;





移動と慣れない会話でもうすぐにも眠りたかったけど、
なにやらどこかに行くらしい。
部屋の電話がなり、ニックが元気良く「hello! come come come!!!」

うむ。
「yes!」

再びフロントに行ってみると二組のお客さんが、
お母さんと子供2人と、夫婦さんと一緒にワゴン車に乗り込み出発～！
pm22:00☆←

ニックは楽しそうにお話中。ニックはベリーハッピーボーイ。
明るくて民宿のお客さんみんなの人気者です(^^)

そしてどんどん車は森の中へ...
まるでサファリパーク(笑)

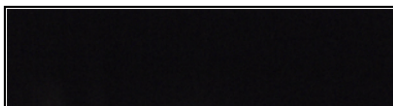
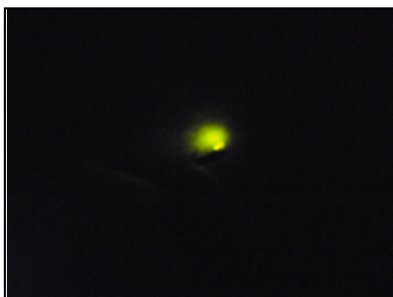


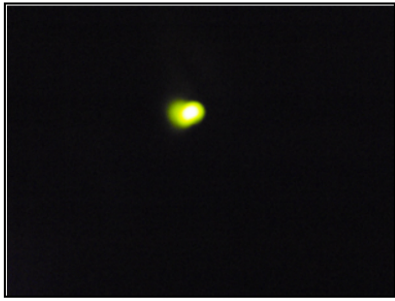
20分くらい走ったでしょうか。ほんと山奥にきました。
ニックが車を止めて、ライトをすべて消すと...

真っ暗闇の中でなにかがきらきらと光っている。
どんどんどん増えていく。

ニックがそいつの正体を車に放り投げてきました。
彼はほんとに野生と一緒に生きてきたみたい。いいなぁ。

正体はFirefly
螢です。
ほんとに生まれて初めて本物の螢を見ました！





こうしてなんだか花蓮に着いてからがとても長くで濃かった初日は終わり、
am2:00就寝。

(花蓮のできごと②)につづきます。

カテゴリー：
post by 谷本 冨海 | 日時: 2010.04.01 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)